

# 企業経済研究会活動 50 年の軌跡

～ Part 1 ～

(1958 年 9 月～1983 年 11 月)

(敬称は省略させていただきました。)

## 1958年企業経済研究会

- 9月29日 【創立総会】(明大)
- 11月29日 【シンポジウム】(日大) テーマ「独占資本と経営学の課題」
- 12月13日 【シンポジウム】(慶大) テーマ「独占資本と経営学の課題」

## 1959年企業経済研究会

- 1月24日 【シンポジウム】(立大) 薄信一編「技術革新と企業経営」について
- 2月14日 (明大) 岩田巖雄「自己金融について」
- 4月25日 (中大) 佐藤芳雄「中小企業経営をめぐる諸問題」
- 6月6日 (武蔵大) 松岡盤木「わが国経営組織の現状」
- 7月4日 (日大) 高橋洗「:経営社会政策の日本的類型」
- 10月24日 (慶大) 菊地敏夫:「ペンション・ファンドについて」
- 11月14日 (日大) 土屋嘉一郎「バーナード理論の意義」
- 12月19日 (立大) 茂木虎雄「試算表と貸借対照表」

## 1960年企業経済研究会

- 2月6日 (明大) 木元進一郎「工場委員会について」
- 4月2日 (日大) 長谷川廣「合理化をめぐる」  
(これ以後、安保斗争その他の理由により、しばらく休会状態が続く。)

## 1961年企業経済研究会

- 6月3日 【シンポジウム】(中大)
  1. テーマ「岩尾裕純編著『日本のビッグ・ビジネス』をめぐる」
  2. 海道進氏帰朝報告
- 7月8日 (立大)
  1. 渡辺睦「日本の中小企業」
  2. 松尾憲橘氏帰朝報告
- 9月9日 (明大)
  1. 神田忠雄「資本構成の是正について」
  2. 三戸公「技術革新と近代化」
- 10月14日 (法大) 木元進一郎「動力車労組の事前協議制について」
- 11月25日 (明大)
  1. 中村瑞穂「E. D. ジョーンズの経営学説」
  2. 宮島尚史「西独における労働者組織の問題点」
- 12月21日 【シンポジウム】(本郷いろは寿司) テーマ「わが国経営学者の課題」

## 1962年企業経済研究会

- 1月27日 (明大) 宮川宗弘「コンビナートの問題をめぐって」
- 2月10日 (明大) 加藤尚文「戦後労務管理史の時期区分」
- 3月24日 (中大) 薄信一「Job Enlargement について」
- 4月14日 (日大) 蔵園進「他人資本問題の評価について」

- 5月12日 (法大) 野口祐「アメリカ・西ドイツにおける企業集中の性格」
- 6月16日 (立大) 山本秀雄「わが国独占の把握方法について」
- 7月14日 (慶大) 野口祐「企業集団化をめぐる経営問題」
- 9月22日 (明大) 薄信一
- 11月10日 (中大) 1. 岩尾裕純氏帰朝報告  
2. 三戸公「経営学の現状と課題」
- 12月8日 (日大) 高橋洗「職務給と横断賃率」

#### 1963年企業経済研究会

- 1月12日 (法大) 白髭武「マーケティング管理の環境問題」
- 3月30日 (中大) 岩尾裕純「現代資本主義とビッグ・ビジネス」
- 5月4日 (立大) 坂口康「コンビナートの諸問題」
- 6月1日 (慶大) 1. 一寸木俊昭「経営学の問題領域と研究方法」  
2. 三戸公「バーナムの経営者革命論批判」
- 7月6日 (法大) 1. 佐藤芳雄「最近の中小企業問題」  
2. 権泰吉「管理論と現代企業論」
- 7月31日 (私学会館) 1. 角瀬保雄「会計公準論の展開」  
2. 鮎沢成男「最近における企業理論の動向」
- 9月15日 【合評会】(立大) 青木書店刊『競争の経営学』、『経営と組織の構造』
- 10月12日 (中大) 1. 長谷川廣「経営における労務管理の地位と課題」  
2. 木元進一郎「労務管理の本質について」

#### 1964年企業経済研究会

- 1月25日 (法大) 中村瑞穂「経営組織論の展開」
- 2月15日 (私学会館) 岡田裕之「商業資本論一可変資本の平均利潤への参与一」
- 3月31日 (明大) 木元進一郎「経営参加の課題と本質」
- 5月2日 (明大) 一寸木俊昭「経営学の方法論をめぐって」
- 6月6日 (法大) 1. 中山金治「現段階の中小企業問題について一特に中堅企業論を中心として一」  
2. 今村成男「経営経済学的思考について」
- 7月4日 (立大) 三戸公「経営学方法論の再検討一独占現定をめぐって一」
- 9月19日 (中大) 1. 野口祐「経営学方法論の再吟味」  
2. 丸山恵也「ドイツ経営史学の源流」
- 10月24日 (立大) 1. 高橋昭三「経営学と財務管理一株式会社金融論における資本予算論の地位一」  
2. 角瀬保雄「経営分析の方法について一戦後日本における批判的経営分析の発展に関連して一」
- 12月12日 (明大) 1. 泉卓二「臨時工問題と労務管理」  
2. 高橋洗「職務給と職能給」

#### 1965年企業経済研究会

- 1月23日 (立大) 1. 池田正孝「中小企業系列化の問題」

- 2. 藤井光男「社内報の研究」
- 2月22日(中大) 討議・「研究誌の発行について」
- 4月3日(法大) 長谷川廣「イギリスにおける労使関係の現状」
- 5月15日(明大) 敷田礼二「経営理念と経営計算思考について」
- 6月19日(中大)
  1. 藤井光男「現代日本経営史の分析視角について」
  2. 茂木虎雄「会計史の方法」
- 7月20日(立大)
  1. 泉卓二「書評・藻利重隆著『労務管理の経営学』森山書店」
  2. 藤井誠一「法人税法の改正と所得計算構造」
- 9月11日(明大)
  1. 荒川邦寿「付加価値分析をめぐる」
  2. 君塚芳朗「ドラッカーの利潤概念—ドラッカー教授との往復書簡を中心として—」
- 10月22日 経営学会大会を機会に東西部会を開催
- 11月20日(日大)
  1. 一寸木俊昭「経営機械化論について」
  2. 土屋嘉一郎氏帰朝報告
- 12月11日(法大)
  1. 一寸木俊昭「経営機械化論—再論—」
  2. 土屋嘉一郎「ドイツにおける組織論—特にノルドジイクについて—」

#### 1966年企業経済研究会

- 1月22日(明大)
  1. 宮川宗弘「管理の概念について」
  2. 三戸公「経営学説史」
- 2月19日(中大) 合評会・「経済評論」臨時増刊号(関東会計研究会と合同)
- 4月21日(中大) 馬場克三(九大)・岡部利良(京大)・岩尾裕純(中大):  
「学術会議の問題点—特に科学技術基本法案をめぐる討議—」
- 5月28日(京浜三浦ケーブシヤトウ)  
関東会計と共同で「東西若手会」 「討議・『経評』二月特集号を中心に」  
問題提起者: 関東・野口祐、関西・河合信雄、九州・平田正敏、北海道・菅原秀人
- 7月2日(中大) 鮎沢成男「J. DeanのManagerial Economicsについて」
- 9月10日(立大)
  1. 木元進一郎「現代経営学の課題—合理化—」
  2. 長谷川広「労務管理論の方法とわれわれの課題」
- 10月1日(中大) 企業研・関東会計合同研究集会  
東西若手会のシンポジウムの討論について
- 10月12日(大阪府立労働会館) 【東西研究会主催合同シンポジウム】  
「社会科学としての経営学」
- 10月22日(法大)
  1. 君塚芳朗「ドラッカー教授の批判に答える」
  2. 合評会・『経評』臨時増刊号
- 11月12日(慶大)
  1. 貫隆夫「規模の理論について」
  2. 中山金治「中小企業研=究視角の分化について」
- 12月10日(中大)
  1. 藤井光男・藤井治枝「パートタイマーの研究—電機産業の合理化運動に関連して—」
  2. 討論・本年度の回顧と反省

#### 1967年企業経済研究会

- 1月14日(法大) 坂口康「ワールド・エンタープライズ論の背景と論理」
- 2月18日(中大)
  1. 岩尾裕純「H. サイモンの理論について」

2. 書評・岩尾裕純著「企業・経営とは何か」岩波書店

- 4月15日 (東洋大) 敷田礼二「行動科学における目標管理」
- 5月6日 (明大) 1. 犬塚伝也「行動科学に関する文献研究」  
2. 権泰吉「朝鮮における社会主義競争運動」
- 6月10日 (中大) 白髭武「アメリカにおけるPRの発達」
- 7月1日 (立大) 1. 野口祐「産業再編成と企業経営」  
2. 宮島尚史「産業再編成と労働運動」
- 9月16日 (明大) 1. 池田正孝「中小企業について」  
2. 佐藤芳雄「欧米の中小企業問題について」
- 10月17日 (明大) 【全国合同研究会】「経営学の根本問題」
- 12月9日 (法大) 1. 野口祐「費用法則の分析視角」  
2. 合評会・『経評』臨時増刊号

### 1968年企業経済研究会

- 2月10日 (明大) 今村成男「経営学の方法について」
- 4月13日 (明大) 藤井光男「戦前日本製糸業の経営史的考察」
- 5月4日 (法大) 木元進一郎「書評・経営学研究グループ『経営学』亜紀書房」
- 6月8日 (中大) 1. 長谷川廣「管理概念の明確化のために」  
2. 山下幸夫氏帰朝報告
- 7月13日 (日大) 中山金治「書評・市川弘勝編『現代日本の中小企業』」
- 9月14日 (立大) 一寸木俊昭「経営管理学における「社会学」的アプローチ」
- 10月12日 (明大) 合評会・『経評』臨時増刊号  
コメンテーター:佐藤芳雄, 田中章義, 鮎沢成男
- 10月24日 (大阪市大) 【全国合同研究会】
  1. 吉武孝祐「批判経営学における資本運動観点と労働運動観点」
  2. 角谷登志雄「管理論研究における問題点」
  3. 市川深「日本自動車独占の実態とその動向」
- 11月9日 (法大) 【討論会】「経営学会全国大会の報告をめぐって」  
討論者:一寸木俊昭, 松本正徳, 坂口康
- 12月14日 (中大会館) 1. 中村瑞穂「科学的管理の評価にかかる若干の論点」  
2. 岡山礼子「イギリスの経営研究」

### 1969年企業経済研究会

- 1月18日 (明大) 三戸公氏帰朝報告
- 2月15日 (私学会館) 1. 松本正徳「書評・上林貞治郎編『経営経済学』大月書店」  
2. 貫隆夫「手順計画について」
- 4月12日 (慶大) 桜田百合子「婦人労働における家族規制について」
- 5月10日 (武蔵大) 1. 野口祐「再生産過程における合理化問題」  
2. 及川徹「銀行労働の合理化」
- 6月7日 (法大) 赤川元章「擬制資本に関する一試論」
- 7月5日 (湯島会館) 1. 木元進一郎「『経評』特集号テーマ「70年安保と労働問題」の中間報告」

2. 菊野一雄「近代労務管理の成立過程に関する一考察」

- 9月13日 (湯島会館) 1. 高橋昭三「財務論と企業投資理論」  
2. 村田稔「ガルブレイス『新しい産業国家』批判」
- 10月11日 (光鶴園) 【全国合同研究会】  
橋博(大阪市大)「経営経済学と実践運動」
- 11月1日 (日大) 合評会・『経評』臨時増刊号(関東会計と合同)
- 12月13日 1. 松本正徳「ヴェブレンの企業論について」  
2. 植竹晃久「技術論の再検討—ゾムバルトの所説を中心として—」

### 1970年企業経済研究会

- 1月17日 (私学会館) 1. 一寸木俊昭「技術概念の再検討」  
2. 藤井光男「国際合繊企業の実態と特質」
- 2月14日 (武蔵大) 1. 高橋俊夫「テンドウリー・シェンブルーク研究」  
2. 今野登「ドイツ「経営管理学」について」
- 4月25日 (明大) 下川浩一「クライスラー自動車会社の経営史」
- 5月23日 (明大) 高橋洗氏帰朝報告(イギリスの労使関係)
- 7月4日 (私学会館) 野口祐「意思決定論の根本的問題とその特質」
- 8月1日 (私学会館) 1. 岩尾裕純「ドラッカー理論の総合的検討」  
2. 村田稔「ドラッカーの産業社会論」  
3. 池田正孝「最近における4 儒細企業の経営問題」
- 9月19日 (私学会館) 1. 貫隆夫「プロダクション・コントロール小論」  
2. 一寸木俊昭「「デイス・イノベーション」論序説」
- 10月13日 (神戸大) 【全国合同研究会】  
1. 下川浩一「ドラッカー理論の再検討」  
2. 前川恭一「日本のビッグ・ビジネスについて」  
3. 荒川邦寿「コンツェルン分析について」
- 10月24日 (駒沢大) 合評会・『経評』臨時増刊号(関東会計と合同)  
コメンテーター:市川深,一寸木俊昭,丸山恵也
- 11月14日 (武蔵大) 1. 今野登「グーテンベルクの企業指導論について」  
2. 一寸木俊昭「戦後家電産業の発展と問題点」
- 12月12日 (明大) 1. 藤井光男「戦後アメリカの対日繊維政策と企業経営」  
2. 渡辺睦「70年代の中小企業政策の基調」

### 1971年企業経済研究会

- 1月23日 (私学会館) 中村瑞穂「公害と経営学」
- 2月6日 (慶大) 1. 野口祐「銀行経営論批判」  
2. 菊野一雄「アメリカにおける労務管理理念の形成と社会思想—「人間の存在」(ヒューマン・ビーイング)という労働者観の形成を中心として—」
- 4月17日 (中大会館) 1. 松本正徳「書評・権泰吉著『経営組織論の展開』」  
2. 岩尾裕純:「現代経営学全書の刊行」について
- 5月15日 (明大) 坂口康「制度主義と経営学—いわゆる制度的経営学の性格について—」

- 6月12日 (立大) 1. 赤川元章「書評・後藤泰二著『株式会社の経済理論』ミネルヴァ書房」  
2. 田中隆雄「我国独占資本主義段階における賃銀形態の特徴—年功賃金と職務給の統一の把握のために—」
- 7月24日 (法大) 木元進一郎・泉卓二「労務管理の本質—長谷川廣著『現代労務管理制度論』青木書店を中心として—」
- 9月11日 (慶大) 中山金治氏帰朝報告(イギリス)
- 10月9日 (中大) 1. 今野登「西ドイツの寄生性について」  
2. 高橋由明「ゲーテンベルクの財務論」
- 11月13日 合評会・『経評』経営会計特集(関東会計研究会と合同)  
コメンテーター:丸山恵也, 遠藤孝, (司会)角瀬保雄
- 12月11日 (法大) 1. 田中隆雄「日本鉄鋼業におけるスクラップ・アンド・ビルトの進展と労務管理—第3次合理化の実態分析—」  
2. 藤井光男「国際経済の動向と日本の繊維産業—書評に答えて—」

### 1972年企業経済研究会

- 1月22日 (立大) 1. 貫隆夫氏帰朝報告(西ドイツ)  
2. 池田正孝「円切上げと下請再編成」
- 3月4日 (立大) 宮川宗弘・中村瑞穂・一寸木俊昭・権泰吉「経営管理論の方法」
- 4月15日 (慶大) 長谷川廣・泉卓二・木元進一郎「労務管理の対象と方法」
- 5月13日 (立大) 1. 高橋昭三氏帰朝報告(イギリス)  
2. 村田稔氏帰朝報告(西ドイツ)  
3. 鮎沢成男氏帰朝報告(ポーランド)
- 6月17日 (中大会館) 1. 森章ほか「社会主義企業論の方法」  
2. 植竹晃久「経営技術論の展開」
- 7月15日 (明大) 1. 岩尾裕純「アメリカ経営理論の基本的性格—『講座経営理論Ⅰ・Ⅱ』中央経済社に関連して—」  
2. 長谷川廣・泉卓二「経営管理の基本的特徴—雑誌『経済』5月号所収論文に関連して—」
- 9月16日 (中大会館) 1. 渡辺睦「中小企業経営論について」  
2. 成田修身「国際競争とソーシアル・コスト」
- 10月28日 (立大) 合評会・『経評』経営会計特集号(関東会計研究会と合同)
- 12月2日 (武蔵大) 1. 池田正孝「円切上げ下の中小企業」  
2. 野口祐「経営学の方法論をめぐる諸問題」

### 1973年企業経済研究会

- 1月13日 (法大) 1. 藤井光男氏帰朝報告(ヨーロッパ)  
2. 下川浩一「フォード経営史の一考察」
- 4月14日 (日大商) 一寸木俊昭ほか「『現代経営管理論』(日評)について」
- 5月19日 (中大) 今村成男・貫隆夫「生産管理論の対象と方法」
- 6月23日 (明大) 1. 高橋由明「第三次方法論争の問題点—ゲーテンベルクとメレロヴィッツの認識方法について—」  
2. 敷田礼二「情報化社会と民主的統制」
- 7月14日 (明大) 1. 岡山礼子氏帰朝報告(UCSwork-inについて)  
2. 自髭武「『マーケティング』(日評)中間報告」
- 9月29日 (中大) 鈴木清之輔:「独占価格について」
- 10月20日 (法大) 合評会・『経評』経営問題特集号  
コメンテーター:坂口康, 勝山進



- 11月10日(明大) 1. 日寿永欣三郎「管理者管理について」  
2. 平尾武久「ドイツにおける経営参加の問題」
- 12月8日(中大) 岩尾裕純「人間にとって企業とは何か」

### 1974年企業経済研究会

- 2月2日(日大) 藤井光男『経営史一日本一』(日評)の方法と構成
- 3月16日(慶大) 一寸木俊昭「最近における批判的経営学の理論的動向」
- 4月20日(法大) 野日祐「経営学原理の分析視角」
- 5月18日(明大) 宮川宗弘「岩尾裕純稿「マネジメント・サイエンスの基本的性格について」」
- 6月22日(中大) 1. 長谷川廣「書評・木元進一郎著『労務管理と労働組合』労働旬報社」  
2. 泉卓二「書評・長谷川廣編著『人事管理言剣(経営会計全書第7巻)日本評論社』」
- 7月20日(日大) 1. 茂木一之「イギリスにおける賃金ドリフトと労働組合」  
2. 渡辺行雄「中小企業の組織化について」
- 9月14日(立大) 1. 阿部由紀「現代の金融資本論争について」  
2. 坂口康「企業の社会的責任」
- 10月19日(明大) 合評会・『経評』経営会計特集号  
コメンテーター・一寸木俊昭, 御子柴雅夫
- 11月16日(法大) 高橋流・泉卓二編著『賃金管理論』(経営会計全書=第8巻)日本評論社  
討論会・経営学会大会をふりかえって
- 12月7日(如水会館) 1. 井上照幸・君塚芳郎「社会主義競争について」  
2. 鮎沢成男「書評・中村瑞穂・権泰吉編著『現代経営組織論』(経営会計全書第6巻)日本評論社」

### 1975年企業経済研究会

- 1月18日(丸善全労会館) 中村瑞穂「書評・岩尾裕純著『経営経済学』」
- 4月19日(明大) 野口祐「書評・一寸木俊昭編著『現代経営管理論』(経営会計全書第5巻)日本評論社,  
及び中村瑞穂著『経営管理論序説』亜紀書店」
- 5月17日(中大) 1. 野口祐「書評:一寸木俊昭編著『現代経営管理論』及び中村瑞穂著『経営管理論序説』」  
2. 瀬戸岡紘「多国籍企業の成立と展開—アメリカを中心として—」
- 6月14日(日大) 1. 高橋昭三「経営財務論研究の課題—経営会計全書『経営財務論』に関連して—」  
2. 菊野一雄氏帰朝報告(現代アメリカの労務管理論の新展開)
- 7月19日(立大) 1. 小山修「リップ闘争の経過について」  
2. 青山茂樹「戦時日本鉄鋼業の労働力編成と労務統轄機構—八幡製鉄所を中心に—」
- 9月13日(法大) 1. 林卓史「労業論—精神労働と肉体労働の分割—」  
2. 山下幸夫「「大不況」期におけるイギリスの企業経営—イギリス資本主義の衰退との関連において—」
- 10月11日(明大) 合評会・『経評』経営会計特集号  
コメンテーター:白髭武, 布施博正
- 11月22日(中大) 1. 鈴木俊夫「イギリス近代株式会社の生成—19世紀初頭~1830年代半—」  
2. 藤井光男『日本経営史』(経営会計全書第3巻)日本評論社終章「企業経営における史的矛盾と特質」

### 1976年企業経済研究会

- 1月17日(日大) 1. 貫隆夫『現代技術評論第5号』について  
2. 成田修身「書評・岩田巖雄・高橋昭三編著『経営財務論』(経営会計全書第10巻)日本評論社」
- 4月24日(立大) 牧野富夫・泉卓二・高橋洗「木元進一郎編著『労資関係言剣』(経営会計全書第9巻)日本評論社をめぐって」  
■ 5月22日(法大) 1. 一寸木俊昭「書評・白髭武・下川浩一編著『マーケティング謝』(経営会計全書第11巻)日本評論社」  
2. 溝田誠吾「鉄鋼業における系列・下請の研究」
- 6月19日(慶大) 1. 藤井光男「戦前日本独占資本の海外進出について」  
2. 池田正孝「不況下における農村工業の実態」
- 7月24日(日大) 1. 一寸木俊昭「個別資本概念の具体化について(経済)」  
2. 井上秀次郎「工場管理と事務管理一分析視角の検討一」
- 9月18日(法大) 1. 井上照幸「書評・儀我壮一郎編『企業形態』(法学書院)」  
2. 上林貞次郎『臨海工業地帯の分析』(上林著,新日本出版)に関する若干の方法論的問題について」
- 10月13日(神戸大) 【全国合同研究会】  
1. 林昭「ドイツ企業の現状」  
2. 角瀬保雄「イギリス企業の現状」
- 11月20日(法大) 合評会・『経評』臨時増刊号(関東会計研究会と合同)  
コメンテーター:権泰吉,大橋英五
- 12月25日(明大) 1. 安藤陽「電源開発株式会社の発展と役割」  
2. 泉卓二「ホーソン実験と人間関係論」

#### 1977年企業経済研究会

- 1月22日(中大) 1. 一寸木俊昭「書評・中村瑞徳著『管理組織論の生成』東京教学社経理研究所」  
2. 中江剛毅「開放体制下におけるわが国コンピュータ産業の動向」
- 4月16日(専大) 1. 角瀬保雄「現代企業論」  
2. 風間信隆「コンティンジェンシー・アプローチをめぐる最近の動向  
ールーサンスの『管理入門』をめぐってー」
- 5月21日(武蔵大) 1. 井上照幸「書評・森章編著『社会主義企業論』(経営会計全書第21巻)日本評論社」  
2. 花房隆夫「多国籍銀行論」
- 6月18日(立大) 1. 安藤陽二「書評・山下幸夫編著『経営史一欧米』(経営会計全書第2巻)日本評論社」  
2. 大西勝明「現代企業の展開」
- 7月16日(明大) 1. 野口祐「フランス多国籍企業の動向分析」  
2. 中江剛毅「書評・君塚芳郎著『電算機業界』教育社」
- 9月17日(専大) 1. 高橋洗「日本的労資関係の再検討」  
2. 中山金治「中小企業経営論の問題点」
- 10月8日(愛知大) 【東西合同研究会】  
小林康助(名城大)「D.Nelson, "Managers and Workers - Origins of the New Factory System in the United States 1880 - 1920", 1975 について」
- 10月29日(日大) 【関東会計研究会との合同研究会】  
桜井徹「日本の公企業と国有化問題」
- 11月19日(法大) 1. 池田正孝「電子機器産業における生産合理化と下請企業への影響」  
2. 天谷正「日本の最近の管理職をめぐる諸問題」
- 12月17日(立大) 1. 日田中隆雄「企業集団の管理」  
2. 野口祐「多国籍コンサルティング・エンジニアリング企業の分析」

## 1978年企業経済研究会

- 1月21日 (慶大) 1. 小山修「民主的管理の理論」  
2. 宮島尚史「経営参加の社会構造」
- 3月18日 (中大) 高橋昭三「新古典派経済学と財務管理論の統合」
- 4月15日 (法大) 1. 井上秀次郎「日本品質管理小史」  
2. 藤井光男「戦前における繊維資本の海外進出—製糸資本の対鮮進出—」
- 5月20日 (武蔵大) 1. 鮎沢成男「経済学と組織論との統合」  
2. 野口祐「経営学の新しい分析視角について」
- 6月17日 (明大) 1. 池田正孝「中小企業の階層構造」  
2. 中村瑞穂『『日本の経営』論と経営学の方法—経営の概念をめぐる—」
- 7月15日 (専大) 1. 安藤陽「書評・谷田・前川編『現代企業の基礎理論』ミネルヴァ書房」  
2. 貫隆夫「技術の概念について」
- 9月6日 (専大) 【東西合同研究会】  
木元進一郎「経済民主主義と経営参加」
- 10月21日 (慶大) 1. 泉卓二『『アメリカ労務管理史論』をめぐる—』  
2. 野口祐「資本の国際化の新しい特質」
- 11月18日 (駒大) 1. 植竹晃久「西ドイツ巨大企業の利潤再構成と利潤構造」  
2. 藤井光男「戦後繊維産業の海外進出—日本型多国籍企業について—」
- 12月16日 (中大) 1. 大西勝明「書評・中江剛毅著『石鹼洗剤業界』教育社」  
2. 鈴木幸毅「組織均衡について」

## 1979年企業経済研究会

- 1月20日 (立大) 1. 中江剛毅「企業と情報」  
2. 荒川邦寿「合併理論について」
- 3月17日 (法大) 1. 桜井徹「南満州鉄道株式会社の企業活動と財閥」  
2. 高橋俊夫「最近の「批判的」経営学の動向について」
- 4月21日 (日大) 風間信隆「タビストック学派の社会技術システム論」
- 5月19日 (日大) 1. 角瀬保雄「書評・角谷登志雄著『科学としての経営学』青木書店」  
2. 野口祐「企業倒産の法則」
- 6月16日 (明大) 1. 井上秀次郎「電気産業の分析」  
2. 成田修身「書評・野口祐編『日本の六大]ンツェルン』新評論」
- 7月21日 (中大) 1. 小阪隆秀「オーソリティ概念の検討」  
2. 林正樹「減量経営下の技術と労働」
- 9月22日 (専大) 1. 大西勝明「書評・藤井他編『日本多国籍企業の史的展開』(上・下)大月書店」  
2. 小山修「フランスにおける経営参加問題」
- 10月20日 (立大) 1. 柳沢敏勝「ユーゴ労働者自主管理とテクノクラシー」  
2. 一寸木俊昭「最近のわが国労働問題研究の一動向」
- 11月24日 (法大) 1. 安藤陽「地方公営企業における独立採算制の導入」  
2. 坂口康「書評・岩尾他著『転換期の企業行動』東西貿易」
- 12月15日 (中大) 【20周年記念研究会】

1. 野口祐「企業経済研究会の二十年の歩み」
2. 一寸木俊昭「最近の経営学の基本的課題について」

### 1980年企業経済研究会

- 1月19日（慶大）
  1. 川上義明「日本のエンジニアリング企業」
  2. 鈴木幸毅「バーナード・システムの「説明能力」について」
- 3月15日（日大）
  1. 井上秀次「『時間研究』の批判的検討」
  2. 角瀬保雄「現代企業変革の課題と展望」
- 4月19日（専大）
  1. 築場保行「Morganizationの構造」
  2. 吉村幸男「マルクスの管理論」
- 5月31日（明大） 鮎沢成男「ポーランドの計画化および管理制度」
- 6月21日（法大）
  1. 貫隆夫「フランスの労働論」
  2. 大西勝明「企業経営の国際化—日本企業の海外進出の基本的特徴—」
- 7月19日（立大）
  1. 日権泰吉「書評・鈴木幸毅著『企業と管理の理論』税務経理協会および  
篠原・太田編著『技術と管理の経営理論』ミネルヴァ書房」
  2. 林焯史「周辺資本主義経済と多国籍企業—韓国—」
- 9月10日（中大）【東西合同研究会】  
野口祐「ソフト支配とコンサルティング・エンジニアリング企業」
- 10月18日（武蔵大）
  1. 角瀬保雄「“経営危機”と整理解雇の必要性」
  2. 桜井徹「書評・野口祐編著『経営学原理』（経営会計全書第●巻）日本評論社」
- 11月15日（慶大）
  1. 小野隆生「マルクスによる管理労働の解明とそれをめぐる論争について」
  2. 石本裕貴「バーナードの経営組織論再考察」
- 12月20日（明大） 中村瑞穂「書評・大西勝明著『現代企業分析』時潮社および角瀬保雄編『現代日本企業と民主化問題』労働旬報社」

### 1981年企業経済研究会

- 1月17日（立大）
  1. 一寸木俊昭「日本の機械工業の現状」
  2. 宮島尚史「企業倒産と労働者の権利闘争—特に田中機械の倒産争議を中心に—」
- 3月28日（法大）
  1. 吉村幸男「経営技術と資本機能—賃金支払制度を事例として—」
  2. 林正樹「経営管理技術論の方法」
- 4月18日（専大）
  1. 貫隆夫「管理および管理技術の概念と構造」
  2. 長谷川廣・泉卓二「書評・木元進一郎編『現代日本企業と人事管理』労働旬報社」
- 5月15日（中大） 茂木一之「書評・長谷川廣編『現代日本企業と労使関係—80年代の企業と労務管理3—』労働旬報社」
- 6月20日（日大）
  1. 鈴木幸毅「『地域と企業』に関する序説的考察」
  2. 牧野富夫「『労働問題』の概念規定について」
- 7月25日（命題）
  1. 小松章「わが国大企業の大株主構造と経営者」
  2. 長谷川廣「経営民主化の意味と条件」
- 9月8日（立命館大）【東西合同研究会】  
今井俊一「企業管理論の回顧と展望」
- 9月19日（立大）
  1. 林焯史「日本の多国籍企業と国際ロジスティクス戦略」
  2. 荒川邦寿「会社合併・分割をめぐる諸問題」
- 10月17日（中大）
  1. 池田正孝「英国自動車産業調査」

2. 大西勝明「〈無人化工場〉について」

■11月21日(日大)

1. 高橋由明「日本企業の財務構造の特徴—業種間差異と米・英・西独企業との比較—」
2. 藤井光男「攪判的経営史から見た『日本的経営』」

■12月26日(慶大)

1. 桜井徹「公企業の資金調達構造の特質について—公社・公団・事業団の財務比較分析を通じて—」
2. 野口祐「技術先端部門の企業経営分析」

### 1982年企業経済研究会

■1月16日(専大)

1. 鈴木清之輔「西ドイツの企業間結合の特徴について」
2. 百田義治「書評・一寸木俊昭編『現代経営学入門』有斐閣」

■3月20日(専大)

1. 溝田誠吾「アメリカ鉄鋼独占形成史—1870~1910年—」
2. 中山金治「都市型零細企業の問題」

■4月17日(中大)

坂本清「F. W. テイラーとH・L・ガントの管理論比較」

■5月15日(法大)

1. 中江剛毅「わが国製造業の戦略と経営成果」
2. 伊藤裕人「書評・藤井光男編著『経営史—日本』(経営会計全書第3巻)日本評論社」

■6月19日(法大)

1. 林正樹「生産のオートメーション化による管理技法と作業労働の変化」
2. 角瀬保雄・一寸木俊昭「書評・中央大学企業研究所編『日本的経営論』中央大学出版部」

■7月17日(立大)

1. 宮川宗弘「産業技術の展開と経営管理の課題—石油化学工業の成立と展開にそって—」
2. 貫隆夫「現代技術革新の基本問題」

■9月7日(立大)【東西合同研究会】

木元進一郎「ロボットと経営」

■10月16日(明大)

1. 平沼高「アメリカ自動車産業における技能者養成」
2. 井上照幸「先端的軍事技術としての光通信技術」

■11月27日(法大)

1. 中原秀登「新所有者の形成とその特質」
2. 松章「機関所有の窮極的意味」

■12月18日(日大)

1. 大西勝明「構造不況下の日本企業」
2. 野口祐「独創科学技術のアカデミー・コンプレックス組織の再吟味」

### 1983年企業経済研究会

■1月22日(私学会館)

1. 安藤陽「公共企業体と「経営の自主性—臨調第四部会報告を中心に—」
2. 桜井徹「公企業の経営原則—公共性と企業性について—」

■3月26日(中大)

ミニシンポジウム・「原子力発電における日本的経営の基盤」

趣旨説明・岩尾裕純

コメンテーター・赤羽新太郎, 丸山恵也

司会・角瀬保雄

■4月16日(法大)

1. 築場保行「株式会社と株式会社経営の特質」
2. 池田正孝「日英の下請システムの比較—自動車工業—」

■5月28日(駒大)

高橋由明「西独経済民主主義論と職場の共同決定—DGBの綱領とF・フィルマーの見解を中心に—」

■6月18日(専大)

1. 日高克平「書評・野口祐著『統合的多国籍企業論』森山書店」
2. 儀我壮一郎「公企業改革の問題点—国鉄を中心に—」

■7月2日(慶大)

1. 植竹晃久「株式会社と現代社会」

2. 今野登「書評・高橋由明著『グーテンベルグ経営経済学』中央大学出版部」

■9月5日（関学大）【東西合同研究会】

片山伍一「現代株式会社の支配機構」

■9月17日（日大） 1. 三井逸友「書評・中山金治著『中小企業近代化の理論と政乗』千倉書房」

2. 藤井光男「両大戦間期における日本の繊維産業と東アジア」

■10月15日（武蔵大） 1. 一楽信雄「行動システムにおける管理構造の分析」

2. 風間信隆「職務再設計の経済的・構造的分析―J Kellyの所説を中心として―」

■11月19日（中大会館） 1. 田中和雄「E. メイヨーの政治理論」

2. 宮島尚史「倒産―北炭夕張, パラマウント及び田中機械の例を中心に―」

－ 1983年12月～1989年4月までの例会の記録はありません。 －